

2 期目就任式挨拶（2017/9/21）

おはようございます。

この度の村長選挙におきまして、村民の皆様からの温かいご支援を賜り、引き続き村政運営を担わせていただくこととなりました。

2 期目を迎え、これまでの4年間で成し得なかったことも含めて、課題解決に向けた施策を着実に推進していくとともに、新たな課題へも挑戦していく覚悟であります。私自身、初心を忘れることなく、この重責を全うして参りたいと考えておりますので、職員の皆さんにも気持ちを新たにして、業務に取り組んでいただきたいと思います。

今回の選挙では、無投票で再選される結果となりましたが、これは、決して、「白紙委任」ではないと受け止めております。本当に自分は村民の皆様には支持されているのだろうかという自問自答することもありましたが、現在の村政運営に大きな不満や異議が出ているということではないと感じており、一定の支持を受けてきたものと理解しております。今後、しっかりと結果を出していかなければならないと考えております。

村の将来を考えてみますと、原子力問題をはじめとして、人口減少問題等の不安な要素も抱えており、村民の皆様には希望や明るい未来を提示していくことが必要ではないかと考えているところであります。幸いにして、今の東海村は、豊かで活力もあり、若い人達も元気が出ていると感じております。東海村に一体感が醸成されてきた今こそ、皆さんの期待に応える未来ビジョンを掲げ、更なる発展を目指していかなければなりません。

私のリーフレットをご覧になった方も多いたとは思いますが、「新たな共生型の地域社会を目指して」というキャッチフレーズを使って訴えてきたところです。これまでの「持続可能なまちづくり」という考え方は変わってありませんが、その実現のためには、地域社会がしっかりと機能していなければならないと感じております。「人とのつながり」や「自然との調和」を大切にしながら、地域コミュニティを再生させたいという想いを強く持っております。

私が、今回の選挙に向けて打ち出した政策については、今日ここで詳しく申し上げることはしませんが、既に、各部長等を通して伝えてありますので、今後、具体的な施策としてとりまとめていきたいと考えております。職員の皆さんには、私の思いをしっかりと受け止めていただき、私とともに力を合わせながら、村民福祉の向上のため一層の尽力をお願いいたします。

今日は、私から皆さんにお願いしたいことが2つあります。

一つは、誰もが村政運営全般に関心を持つことであります。皆さんは与えられた分掌事務を的確に処理することは出来ておりますが、今、村が何を推進しようとしているのかという視点も常に持って頂きたいと思います。特に、平成31年に開催される茨城国体は、全庁あげて取り組まなければならない大きな仕事です。多くの村民の皆様に参加して頂き、まちづくりにも繋がるよう成果を出していかなければなりません。

まずは、職員一人一人が、村が取り組んでいる施策を「自分事」として捉え、何をすべきか、よく考えてもらいたい。皆さんは、常に、役場の看板を背負っているんだという意識を高めていただきたい。

もう一つは、チャレンジする姿勢です。役場は、どちらかというとしが守りが中心となっていると理解しています。我々は、法律や条例、規則等に基づいて、業務を執行しているわけですが、チャレンジ精神を失ってははいけません。前例踏襲にこだわらず、常に新しい視点で物事を考えるようにしていただきたい。他の自治体の事例は、あくまで参考に過ぎません。東海村に適したやり方を見つけるためには創意工夫が必要です。一人一人の努力に期待します。

私にとりましては、今日は一つの節目ではありますが、今年度も半年が過ぎようとしています。喫緊の課題も多々あり、引き続き、私が先頭に立って汗をかいていく覚悟でおりますので、皆さんも一緒に一丸となって取り組んで参りましょう。

以上、2期目就任式の挨拶といたします。

どうぞよろしくお願ひいたします。